

環境心理生理運営委員会 2010年度第3回
議事録案

日時：2010年9月27日 17:00～

場所：建築学会 会議室（307）

出席者：主査 大井尚行

幹事 秋田剛 榎究

委員 讚井純一郎 西名大作（小島隆矢）（大野隆造）（中村芳樹）

（山中俊夫）（松原斎樹）宗方淳（渡辺秀俊） かつこは欠席を示す

議事

議事録確認 2010年度第2回（2010年7月29日）

報告事項

(1) 環境工学本委員会 2010年度第3回

□報告事項

特になし

□審議事項

(5) 技術部門設計競技の課題

「エコ改修」をテーマに提案される予定

(6) 2011年度委員会活動計画案・予算原案および関係書類提出依頼

現主査が作成（小委員会継続）して10/25（月）までに大井、榎、秋田まで提出

榎幹事がまとめて10/29（金）までに事務局担当者へ提出

(7) 大会の反省

学術講演会

連報における内容独立の規定は環境工学部門にはなかった

全体として独立性を明記してもらうよう提案予定（だめなら環境工学部門として統一）

討論を2分ずつで区切っているケースもあったとのこと

セッション全体で討論するという形で司会の裁量に任せればよい

研究協議会、研究懇談会の報告があった

(9) 細々分類

心理生理の提案については、意見は付いていない。最終案が送付されるので確認

(10) 研究協議会企画案

案1：これからの大都市の安全・安心と環境工学の役割←これが有力か

案2：環境工学・・・これまでの30年、これからの30年

案3：建築デザインと環境工学の融合を考える

研究懇談会のイメージ

テーマ：環境工学研究の最前線と分野連携 —自然・生態環境と人工環境（ビルト・エンバイラメント）の融和に向けて—

4年に一度の環境工学委員会傘下の全運営委員会による研究集会。

(11) 環境工学メールマガジン

運用ルールに以下を追加することが承認された

本委員会ですでに承認されている公式行事については、広報小委員会担当幹事および学会事務局の確認のみで配信できるものとする。→サイトに掲載される

(12) 委員長選挙

内規に加え申し合わせが作成され承認された

2回目以降の投票は出席者のみ（委任状提出者を除く）で

(2) □その他

環境設備系の大学院インターンシップ情報が必要であれば、久野先生に連絡のこと

審議事項

(1) 大会関係

・2011年度大会 オーガナイズドセッション

知的生産性をテーマとしてはどうか ex.)「知的活動と環境」

セッション名と200字程度の主旨 原案は環境心理小委員会で作成：11月中旬まで

阻害要因は挙げることができるが、推進要因を挙げることはなかなか困難である

(2) シンポジウム等企画

・第10回 環境心理生理チュートリアル 9/28 (火)

・第9回 感覚・知覚心理シンポジウム 11/20 (土)

(3) 出版関連

・用語集：少しずつ進んでいる

・調査のデザイン：夏休みに進んだ。今後進むことが期待できる

(4) 中長期計画と次期体制

・次期主査選出方法および時期の再確認

立候補・推薦期間：10/12 (火) まで

候補者が複数の場合：メール投票：10/19 (火) まで

選挙管理人：前々主査および前主査（讃井、大井）

(5) その他

次回以降日程案（本委員会日程にそろえると）

11月18日(木) 2月21日(月)

いずれも17:00～